



夢・いっぱい

第12号

令和4年3月25日

2021年度の経営方針：今日の学び合いを楽しみ、明日が待ち遠しい学校づくり
～ 開かれた学校において、「愛宕の子」として地域と共に育てる ～

一年間を振り返って

校長 原田 剛

本年度は、新型コロナウイルス感染症との共存を目指し、従来の日常を取り戻す方法を模索する一年間でした。本校における対応を考えるきっかけとなったのは、1学期に実施した運動会です。保護者の皆様のご理解とご協力のおかげで、整然とした雰囲気の中で無事開催することができました。「これならできる」と実感した行事であったと思います。その後、新たな感染が広がり、多くの活動や行事が制限されましたが、できることも増えました。その一つが、愛宕地区社会福祉協議会のご協力により6年生と地域のみなさんで行った「ペンキ塗り」です。前日は地域のみなさんが掃除と養生をしてくださり、当日は効率よく作業をすることができました。これまでより少し明るい緑色で塗られた通路は、見ていて気持ちよく、輝いていました。地域のみなさんと関わる場を設けることで、気軽にお話ができる関係を築いていくことができます。これからも積極的な取組を進めていきたいと思っています。

すばらしい子どもたちの今後の成長を期待しています。来年度も、本校の教育活動へのご理解とご支援・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

「二分の一成人式」開催

3月23日(水)、延期になっていた4年生の「二分の一成人式」が行われました。当日は多くの保護者のみなさまに来校いただき、子どもたちの成長した姿を参観していただきました。延期の影響も感じさせず、子どもたちは企画運営する力を十分に発揮してくれました。また、合唱や将来の夢の発表から、私たち大人は、しっかり子どもの気持ちを受け止め、手本とならなければならない存在だと改めて感じました。



将来の夢を発表する子ども



地域の方に手伝っていただく6年生

「卒業証書授与式」挙行

3月18日(金)、本年度の卒業証書授与式が挙行されました。限られた練習時間にもか



少し緊張気味の入場

かわらず、卒業生は立派な態度で式に参加することができました。在校生である5年生は、事前に収録したビデオでの参加となりましたが、卒業生と在校生全員が参加した「お別れのことば」が実施できたことを大変嬉しく思います。卒業生のみなさんの今後の活躍を祈っています。